

第5回がんに関する普及啓発懇談会議事次第

○日 時 平成22年4月13日(火) 9:30~11:30

○場 所 霞山会館「霞山の間」
東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
霞が関コモンゲート西館37階

(第1部) 公開シンポジウム・・・全面カメラ撮り可

9:30~10:40

【プレゼンテーション】(各10分)

①韓国が、がん検診受診率53%を達成した理由—訪問視察報告—

東京大学医学部附属病院准教授・緩和ケア診療部長
がんに関する普及啓発懇談会座長

中 川 恵 一 氏

②中外製薬におけるがん啓発の取り組み

中外製薬株式会社社会責任推進部社会貢献・広報グループ
竜 沢 勲 氏

③日本医師会におけるがん検診の取組—がん対策基本法制定以降—

社団法人日本医師会常任理事 今 村 聡 氏

④日本放射線技師会におけるがん検診の取り組み

社団法人日本放射線技師会会長 北 村 善 明 氏

【懇談会構成員及び傍聴者の質疑応答】

各プレゼン終了後 分野毎に5分

(第2部) 懇談会開催・・・カメラ撮り不可、会議は公開

10:40~11:30

【事例発表に対するのフリーディスカッション】

【報告事項】

- ①平成22年度がん検診関係予算案
- ②がん検診統計調査報告（平成21年がんに関する世論調査、平成20年度地域保健・健康増進報告（がん検診関係）、市町村がん検診費用、平成22年1月1日現在市町村のがん検診調査結果、対がん協会アンケート調査結果等）
- ③平成21年度の普及啓発の報告について（がん検診50%推進本部の設置、企業連携実施本部の設置、平成21年度がん検診50%推進全国大会の実施）

【協議事項】

平成22年度の普及啓発の計画について（全国大会、集中キャンペーン、がん検診企業連携等）

【資料】

- 事例1 韓国が、がん検診受診率53%を達成した理由—訪問視察報告—
- 事例2 中外製薬におけるがん啓発の取り組み
- 事例3 日本医師会におけるがん検診の取組—がん対策基本法制定以降—
- 事例4 日本放射線技師会におけるがん検診の取り組み

資料1 がん対策の推進について（平成22年度予算の概要）

資料2-1 平成21年がん対策に関する世論調査の概要

資料2-2 平成20年度地域保健・健康増進報告（がん検診関係）

資料2-3 市町村がん検診費用について

資料3-1 がん検診50%推進本部設置規程

資料3-2 平成21年度がん検診50%推進全国大会の概要について

資料3-3 がん検診企業アクションについて

資料4-1 平成22年度がん検診50%達成に向けた集中キャンペーン実施要領（案）

資料4-2 平成22年度がん検診50%推進全国大会の実施について

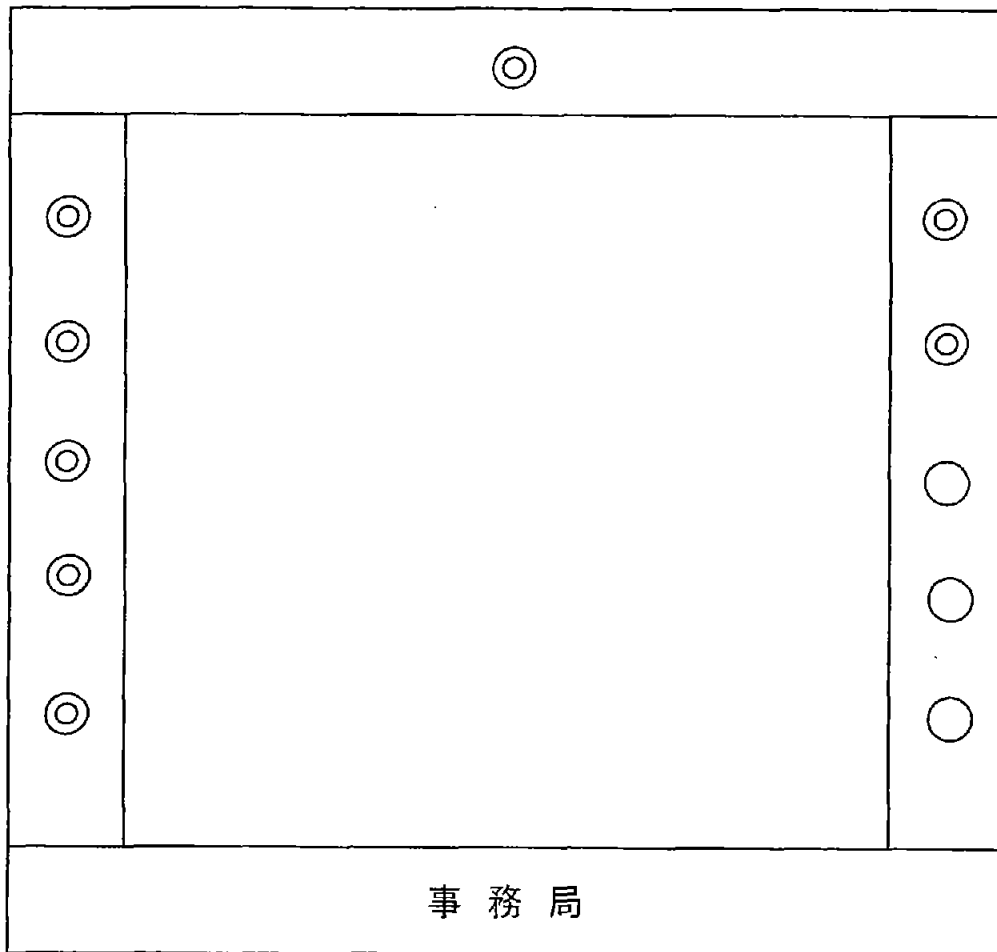
第5回 がんに関する普及啓発懇談会 座席表

○日 時 平成22年4月13日(火)
9:30~11:30
○場 所 霞山会館「霞山の間」

スクリーン

演 台

中川 座長



がん対策推進室長

審議官(がん対策担当)

速記

出入口

事務局

(傍 聴 席)

がんに関する普及啓発懇談会メンバー表

平成22年4月1日現在

氏名	所属
天野 慎介	特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長
衛藤 隆	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部長
兼坂 紀治	社団法人日本広告業協会専務理事
塩見 知司	財団法人日本対がん協会理事・事務局長
関谷 亜矢子	フリーアナウンサー
永江 美保子	アフラック広報部がん対策推進室長
◎ 中川 恵一	東京大学医学部附属病院准教授、緩和ケア診療部長
山田 邦子	タレント
若尾 文彦	独立行政法人 国立がん研究センターがん対策情報センター センター長補佐

注)五十音順、◎は座長

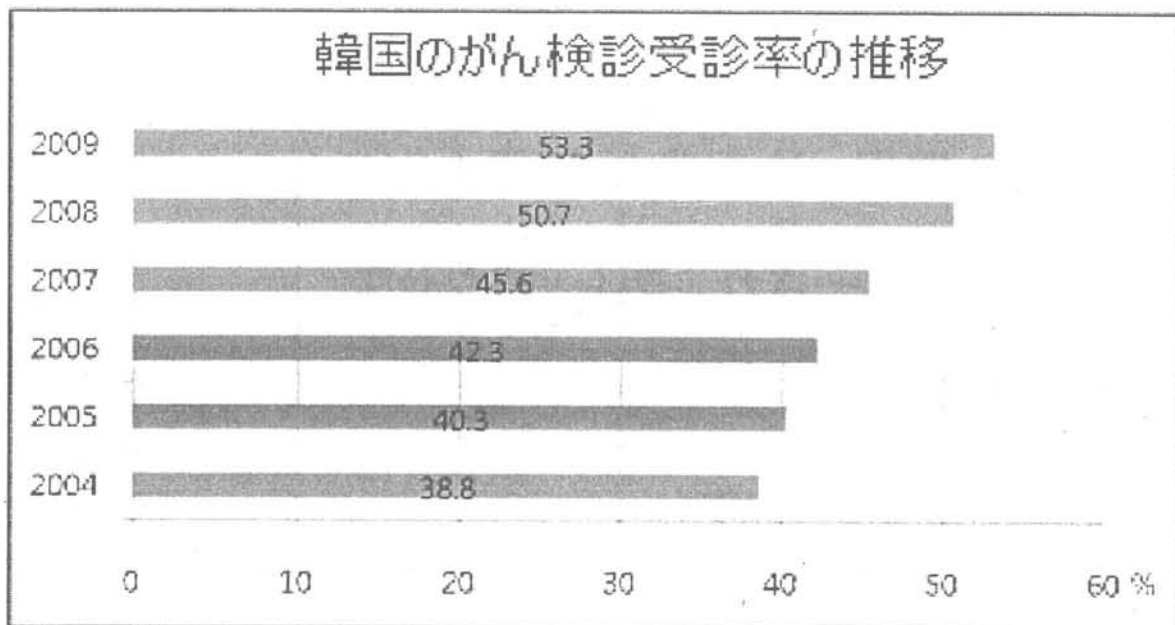
韓国が、がん検診受診率 53.3% を達成した理由 —訪問視察報告—

東大病院 中川恵一

訪問視察:平成22年2月10日(水)~11日(木)

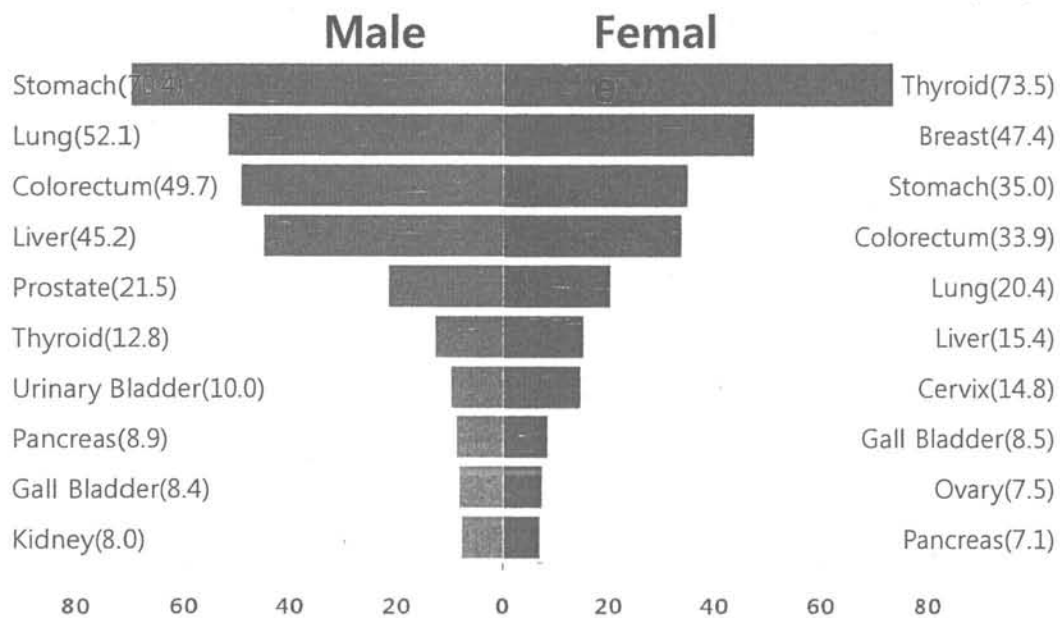
出張者

中川 恵一 がん対策推進協議会委員、東京大学医学部附属病院放射線科准教授
祖父江 友孝 国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部長
若尾 文彦 国立がんセンターがん対策情報センター長補佐
鈴木 健彦 厚生労働省健康局総務課がん対策推進室長
末政 桂一郎 同がん対策推進室がん対策調整係長



Major Cancer Site, 2007

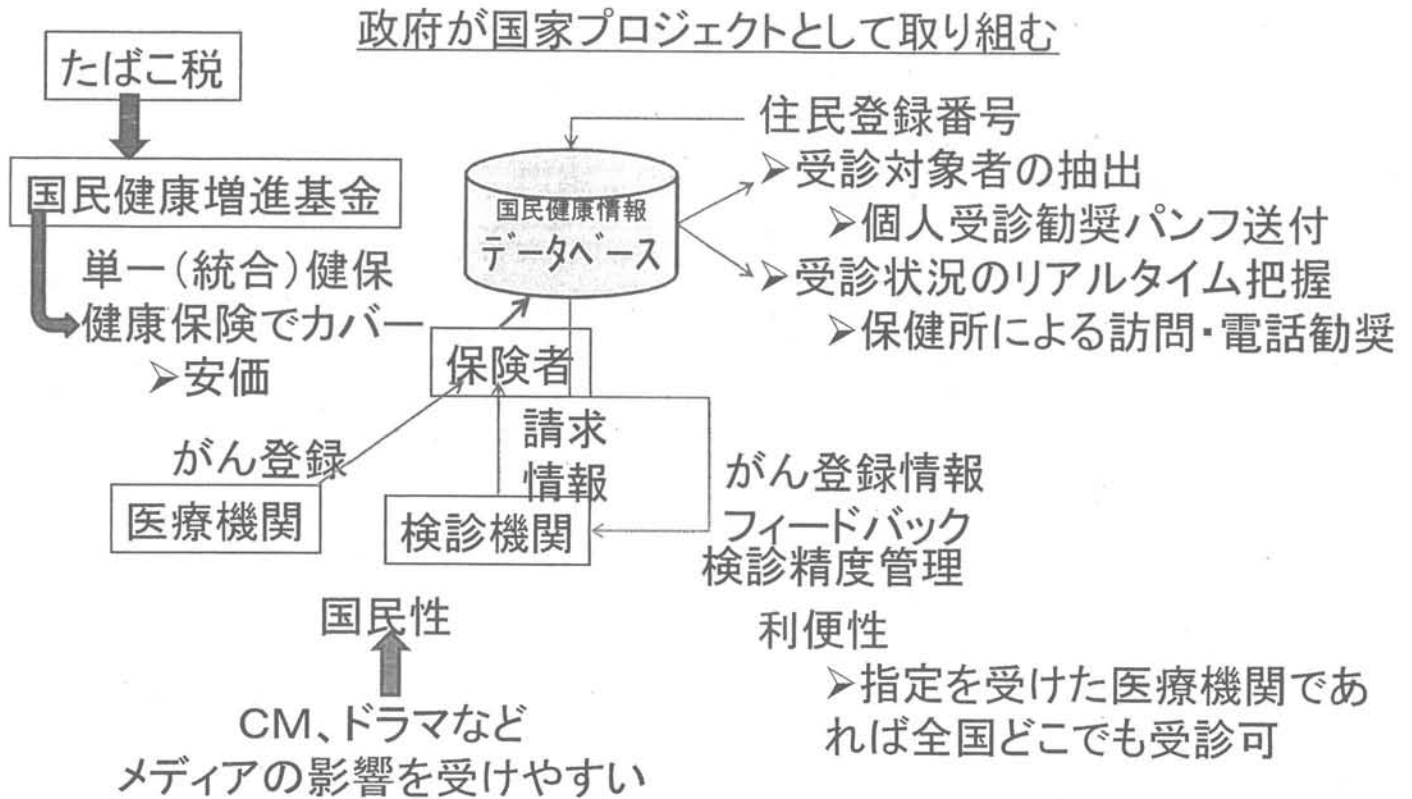
Unit: cases/100,000



韓国で、がん検診受診率が急増している背景

- ✓ 単一（統合）健保、住民登録番号を利用したIT戦略
- ✓ 健康保険でカバーされ、フリーアクセス
- ✓ 個人受診勧奨（パンフ）と訪問・電話勧奨（保健所）
- ✓ がん登録データの存在
- ✓ CM, ドラマなどのメディア
- ✓ 国民性

韓国で、がん検診受診率が急増している背景



検診の費用体系

健康保険料 上位 50%*	健康保険財政 本人負担額	90% 10%	健康保険 財政 100%	本人負担額 100%		
健康保険料 下位 50%*	健康保険財政 国民健康増進基金 地方費	90% 5% 5%				
医療給付 ¹⁾	国民健康増進基金 50%、地方費 50%					
検診項目	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん、肝がん、大腸がん、 乳がん、子宮頸がんなど
種類	公共検診				民間検診	

- 国民健康保険公団 特定がん検診
- 国の早期がん検診事業

※ 上・下位50%区分の基準: 地域加入者 月 保険料 72,000won、
 職場加入者 月 保険料 60,000won

1) 医療給付とは、低所得者層であって国の保険システムに参加する必要のない者のための制度。
 毎月の支払いは求められていない。



健康は私たちに
待ってくれません。+

一生懸命に働いて汗を流しながら生きていく幸せな未来！+

これからは健康にも小さな努力が必要な時です。+

2009+
がん検診のご案内+



保健福祉省
MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE



国民健康保険公団
National Health Insurance Corporation

個人受診勧奨。パンフレット

※ がん検診は検診前にお
すし事受け約してくださ

胃がん検診票

有効期限 2009年12月31日+

本がん検診票と身分証を検診機関に持参すれば、胃がん検診を受診できます。



国民健康保険公団 理事長



※ がん検診は検診前にお
すし事受け約してくださ

大腸がん検診票

有効期限 2009年12月31日+

本がん検診票と身分証を検診機関に持参すれば、大腸がん検診を受診できます。



国民健康保険公団 理事長



受けよう受けよう がん検診



女は2年ごとに
乳がんは40歳以上 子宮頸がんは30歳以上

임도 초기에 발견되면
90% 이상 완치됩니다



90%以上完治します

韓国政府による、がん検診啓発CM

国民の

2人に1人が“がん”になり、

3人に1人が“がん”で亡くなっています。

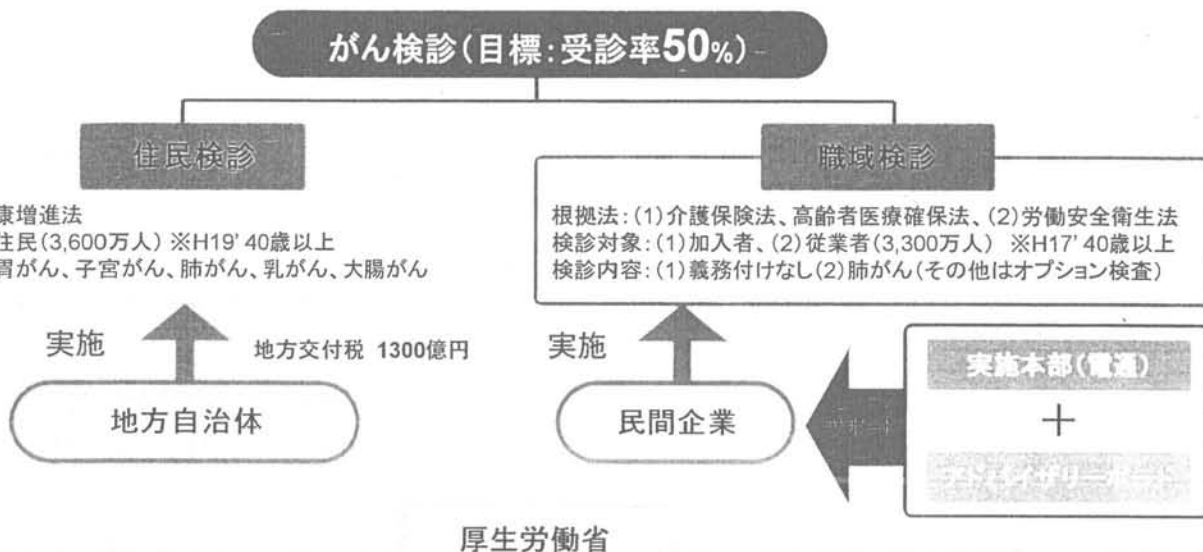
がん検診企業アクションは、

企業の大切な「人材」をがんによって失うリスクを軽減するために

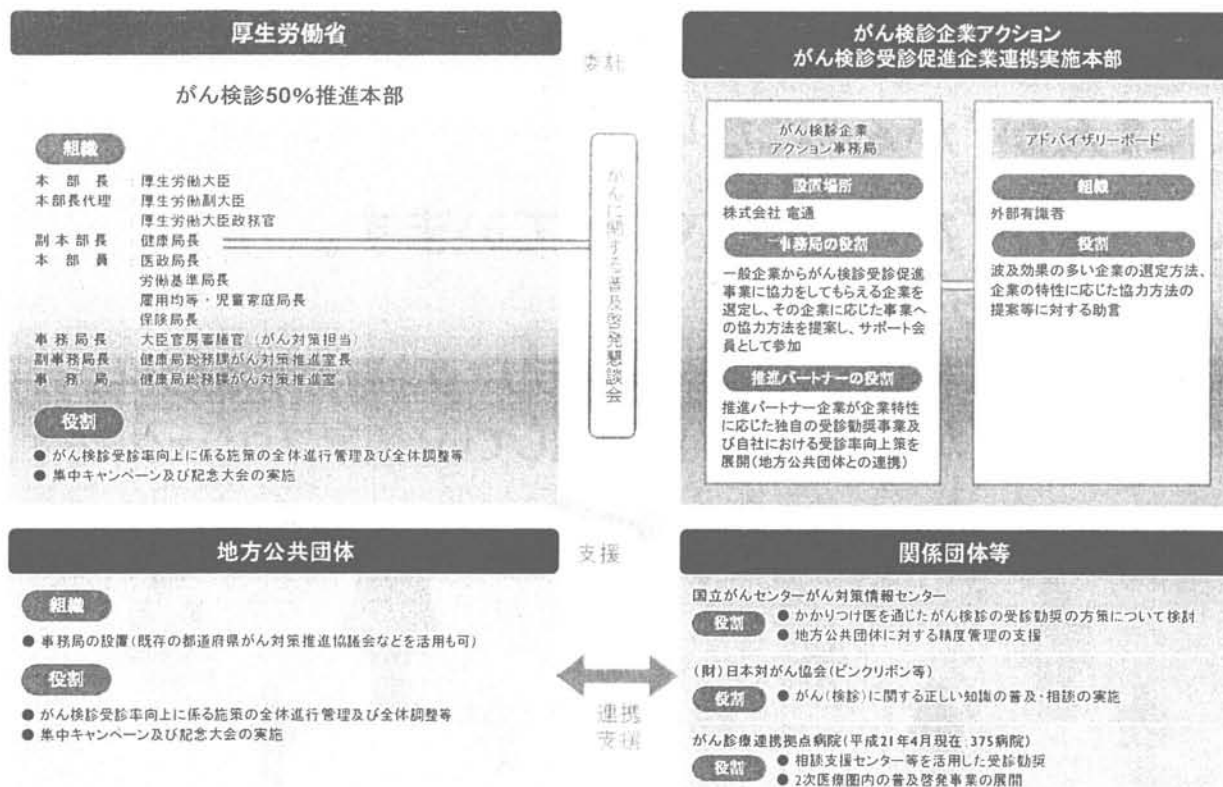
従業員と家族の「がん検診受診」を推進していく国家プロジェクトです。



職域におけるがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成。企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかけることにより、受診率50%以上をめざします。



がん検診50%推進に向けた組織体制



平成22年3月24日現在 50音順／順不同

- 株式会社ACCESS
- 株式会社朝日新聞社
- 株式会社アコーディア・ゴルフ
- アストラゼネカ株式会社
- アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
- 株式会社イーウェル
- 株式会社イトーヨーカ堂
- 栄研化学株式会社
- エイボン・プロダクツ株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- 大塚製薬株式会社
- オリックスグループ健康保険組合
- オリンパスメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社カイゲン
- カルビー株式会社
- 株式会社京都銀行
- 公明党
- 株式会社サニーサイドアップ
- 株式会社サンケイリビング新聞社
- 株式会社三笑堂
- JALリゾート シーホークホテル福岡
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ健康保険組合
- 株式会社スポーツニッポン新聞社
- セコム損害保険株式会社
- 株式会社千趣会
- 総合警備保障株式会社
- 第一生命保険相互会社
- 株式会社大和証券グループ本社
- 大鵬薬品工業株式会社
- 中外製薬株式会社
- テルモ株式会社
- 株式会社テレビ朝日
- 株式会社電通
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

12

- 東京海上日動火災保険株式会社
- 株式会社東京スポーツ新聞社
- 東京都報道事業健康保険組合
- 東京放送ホールディングス株式会社
- トステム健康保険組合
- 株式会社栃木サッカークラブ
- 日本新薬健康保険組合
- 日本テレビ放送網株式会社
- 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
- 社団法人日本放射線技師会
- ノバルティスファーマ株式会社
- 株式会社ハイメディック
- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
- ファイザー株式会社
- フコクしんらい生命保険株式会社
- 株式会社フジテレビジョン
- 富士フイルム株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- ブリストル・マイヤーズ株式会社
- 株式会社毎日新聞社
- 株式会社メディネット
- 株式会社読売新聞東京本社
- リコーリース株式会社
- リゾートトラスト株式会社
- 株式会社リビングくらしHOW研究所
- 株式会社リビングプロシード
- 株式会社ローソン
- 株式会社ワコールホールディングス

推進パートナー企業・団体登録数：62団体 総従業員数：約36万人

13

マスコミ関係者を招いたメディアセミナー

日 時： 2009年12月9日(水)
 場 所： 東京會館
 参加人数： 36社 52名

全国地方新聞社東京支社長との意見交換会

地方新聞社東京支社長の方々に本事業の説明・意見交換を実施

日 時： 2010年1月19日(火)
 場 所： 共同通信社
 参加人数： 42名

推進パートナー取り組み事例の紹介

【オフィシャルサイト】 <http://gankenshin50.go.jp>

株式会社朝日新聞社 様

がん検診企業アクションオフィシャルサイト内『パートナー企業・団体の取り組み』にて社内の取り組みの様子を紹介



アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)様
2009年11月11日(水) 毎日新聞

日本人のがん検診受診率は約**25%**

約**80%**の欧米に比べて、その受診率の低さが日本をがん大国にしています。

あなたも、今すぐ、がん検診を。

アフラックは、厚生労働省が推進する、がん検診受診率50%をめざすプロジェクトを応援しています。大切なのは、早期発見と適切ながん検診とがん予防が、あなたをがんから守ります。

Affac
アフラック

がん検診
企業アクション
がん検診に行きましょう!

がん治療

再発、転移を防ぐために。
進行がんに負けないために。



世界中が治療の新たな選択肢「免疫細胞治療」
人類の歴史に、がん治療の分野において画期的な転換をもたらす技術が開発されてきた。その中心を担うのが「免疫細胞治療」である。がん細胞は、免疫細胞の働きによって自然に死滅する。この免疫細胞を、体外で大量に培養・増殖・活性化し、再び体内に戻すことにより、がん細胞を攻撃する効果的な治療法「免疫細胞治療」である。

がん細胞は増殖し続ける。同じがん細胞でも、免疫細胞を活性化させることで、がん細胞を攻撃し、がん細胞を死滅させることができる。免疫細胞は、がん細胞の増殖を抑制する効果的な治療法である。免疫細胞は、がん細胞の増殖を抑制する効果的な治療法である。免疫細胞は、がん細胞の増殖を抑制する効果的な治療法である。

また、がん細胞の増殖を抑制して、がん細胞の増殖を抑制する効果的な治療法である。免疫細胞は、がん細胞の増殖を抑制する効果的な治療法である。免疫細胞は、がん細胞の増殖を抑制する効果的な治療法である。

再発、転移を防ぐために、進行がんに負けないために。
私たちは、がんと闘うすべての患者さん、そしてご家族を応援します。

株式会社メディネット 様
2010年1月10日(日) 朝日新聞

がん検診
企業アクション
がん検診に行きましょう!

Enabling Bio-medical Technology
MEDINET

www.medinet-inc.co.jp/san-t

0120-360-285

第一生命保険相互会社様

2011年度までに、国民のがん検診受診率を50%に引き上げるため(現在約25%)、国家プロジェクトとして「がん検診企業アクション」(厚生労働省の委託事業)が発足しました。地域住民の検診率アップと並んで、企業にもがん検診率の向上に取り組みでいただきたいと考えたからです。「がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない社会」をめざして、この冊子が、すべての国民の皆さまの手に届くことを願っています。

2人に1人ががんになる

がん検診のススメ

この冊子、ぜひご家族や友人にもすすめてください!

第一生命

09年12月作成

(発)C21H1247(H21.12.4)② 生涯 日本物流商品番号:73017 '09年12月作成

小冊子に
自社のロゴを入れて配布

推進パートナー企業の自主的な啓発活動(チラシ)

生涯設計ジャーナル 生涯設計

あなたと家族を『がん』から守る
～「がん」の予防・発見から治療まで～
(特)日本対がん協会会長/国立がんセンター名誉部長 垣添忠生

Point 1 がん予防のために

がんの予防のために

- ① たばこを吸わない
- ② アルコールは控えめに
- ③ 運動をして肥満を防ぐ
- ④ 塩分を控えて、野菜・果物を取る

がんの要因は...
たばこ(喫煙)が30%
食事が35%
ウイルス・細菌などの感染が10%
つまり75%は生活習慣や環境によるものです!

Point 2 早期発見は重要、だから検診を受けましょう!

がんは体内で気づかないうちに発生していく病気、早いうちは全く無症状です。この時期に検診でがんを見つけ出すことができれば、簡単に治療でき、社会復帰も早くなります。そのため、がん検診は最も重要な方法です。

検診の方法 検診の種類とどこでがん検診

検診人	胃X線検査(二重造影法)
対象がん	子宮頸癌検診
検診がん	便潜血検査
検診人	検診X線と検診検査(喫煙者のみ)の併用
検診がん	マンモグラフィと検診検査の併用

Point 3 がん治療も進歩しています! ーたとえ放射線治療の場合ー

放射線治療は、がんの治療法の一つです。この放射線治療についても、がんの部分に放射線を当てる技術と照射の効果を高めるような方法や機器が発達してきており、「陽子線治療」「重粒子線治療」といった、従来の放射線治療の精度をさらに高めた治療法もあります。

第一生命保険相互会社様
生涯設計ジャーナル

Interview 垣添先生のがん検診とメッセージ

Interviewer 垣添 忠生先生

Interviewee 田添先生のがん検診とメッセージ

検診のすすめ

「あなたと家族をがんから守る」

第一生命では、国民のがん検診受診率を50%に引き上げるため(現在約25%)、国家プロジェクトとして「がん検診企業アクション」(厚生労働省の委託事業)が発足しました。地域住民の検診率アップと並んで、企業にもがん検診率の向上に取り組みでいただきたいと考えたからです。「がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない社会」をめざして、この冊子が、すべての国民の皆さまの手に届くことを願っています。



開催日時: 2010年2月23日(火) 13:30~17:00
 開催場所: 株式会社 電通本社 36階 M会議室
 (東京都港区東新橋1-8-1)
 参加者(予定): 推進パートナー企業 31社



■ プログラム

一部(13:30~14:20)

- 1) 本日の目的の共有
 がん検診企業アクション推進パートナーとしての進むべき方向を探る。
- 2) 各社自己紹介
 推進パートナー企業同士の交流。自社・他社の状況、課題の共有。

二部(14:35~17:00)

- 1) がん検診企業アクション 現状の報告及び質疑応答
- 2) グループディスカッション
 推進パートナー企業が目指すゴールの設定

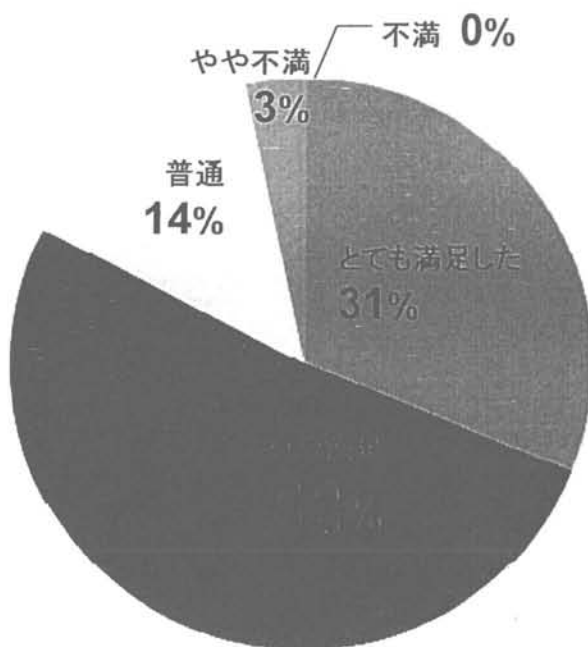
懇親会(17:30~19:00)



31社 61人が参加

推進パートナー会議 アンケート結果

Q. 推進パートナー会議に参加しての感想



参加者の82%が「満足」



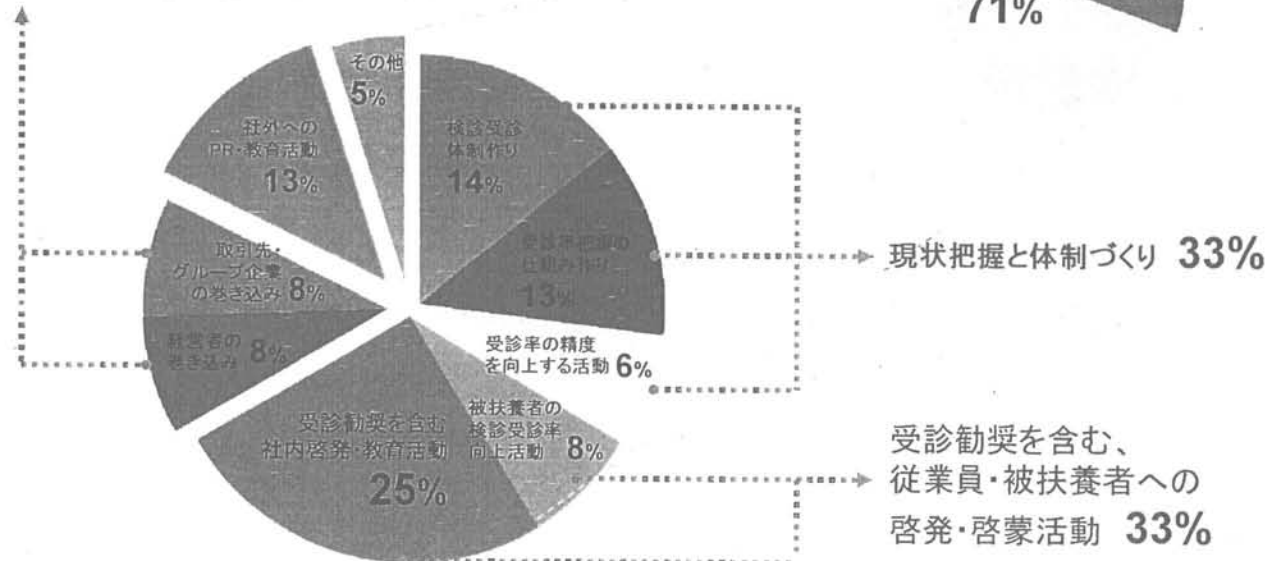
- ・ グループディスカッションで、他社の検診の現状を知ることができた。
- ・ 推進パートナー企業と交流・情報交換ができた。
- ・ 混沌としていた本事業の目的・ねらいが見えるようになった。

Q. 推進パートナー同士のネットワークを使って、どのような取り組みをしたいとお考えですか？（複数回答可）

その場合、どんなことですか？（複数回答可）

経営者・取引先・

グループ企業の巻き込み 16%



推進パートナーの本事業への参加意識

ポイント

1

自社の現状を知り目標を定める

まずは自社の検診受診率の算出をしていただき現状を把握する

ポイント

2

従業員・被扶養者のがん検診受診に対する意識を啓発するための情報を学ぶ

推進パートナー企業として参加することで、他企業の取り組みを知り、がんの最新情報を学びたい

ポイント

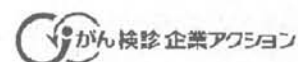
3

がん検診の大切さを広める

従業員・被扶養者・社外に向けてがん検診の重要性を広める

推進パートナー企業団体の 検診受診率・検査項目アンケート集計結果

【参考資料】推進パートナー受診率アンケート集計結果



【がん検診 受診率】アンケート回収数=33社の内、受診率算出可能に11社による平均値
 ※ 下記の受診率は、対象年齢・算出方法など一定ではないため、参考値としてご覧ください。

	従業員	被扶養者
胃がん	62.9%	33.2%
肺がん	87.2%	39.2%
大腸がん	67.8%	32.1%
子宮がん	40.5%	36.4%
乳がん	54.6%	39.9%

【がん検診 検診項目】回収数=33

下記の受診更新項目のデータは、推進パートナー企業様からご回答いただいたデータをまとめたものです(2月19日現在 33社)

	検診内容	企業数
胃がん	問診	5
	胃部エックス線検査	23
	胃内視鏡検査(胃カメラ)	12
	ペプシノゲン検査	3
	ヘリコバクターピロリ菌抗体検査	3
	その他	1
肺がん	問診	4
	胸部エックス線検査	22
	喀痰細胞診	6
	胸部CT検査	4
	その他	2
大腸がん	問診	3
	便潜血検査	19
	一日法	5
	二日法	13
	全大腸内視鏡検査	1
	その他	1

	検診内容	企業数
子宮がん	問診	8
	視診	8
	子宮頸部細胞診	19
	自己採取	4
	医師採取	16
	内診	6
	コルポスコープ検査	0
その他	5	
乳がん	問診	7
	視触診	11
	乳房エックス線検査(マンモグラフィー)	18
	超音波検査(エコー)	20
	その他	5

がん検診の検査項目と受診間隔(厚生労働省指針)

【概要】

- がん検診については、健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として市町村が実施。
- 厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知)を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

【内容】

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診及び胃部エックス線検査	40歳以上	年1回
子宮がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診、視診、触診及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

※1 子宮がん検診:有症状者は、まず医療機関の受診を勧奨。ただし、本人が同意する場合には、子宮頸部の細胞診に引き続き子宮体部の細胞診を実施。

:平成15年度まで、対象者は30歳以上、受診間隔は年1回。

※2 乳がん検診 :平成15年度まで、対象者は50歳以上、受診間隔は年1回。

がん検診企業アクション独自調査

がん検診企業アクション独自調査概要



新年度を迎えて会社員のがん検診に対する意識調査を実施

実は高かった職場でのがん検診ニーズ「受診したい」が97%

「実施している」はわずか22%

意識と実態のギャップが浮き彫りに原因は情報発信不足!?

がん検診企業アクション事務局は2010年3月4日(木)～3月5日(金)、新年度を迎えるにあたり、20～40代の会社員(公務員、団体職員も含む)男女400名を対象に、「がん検診に関する意識調査」を実施しました。

【調査結果の概要】

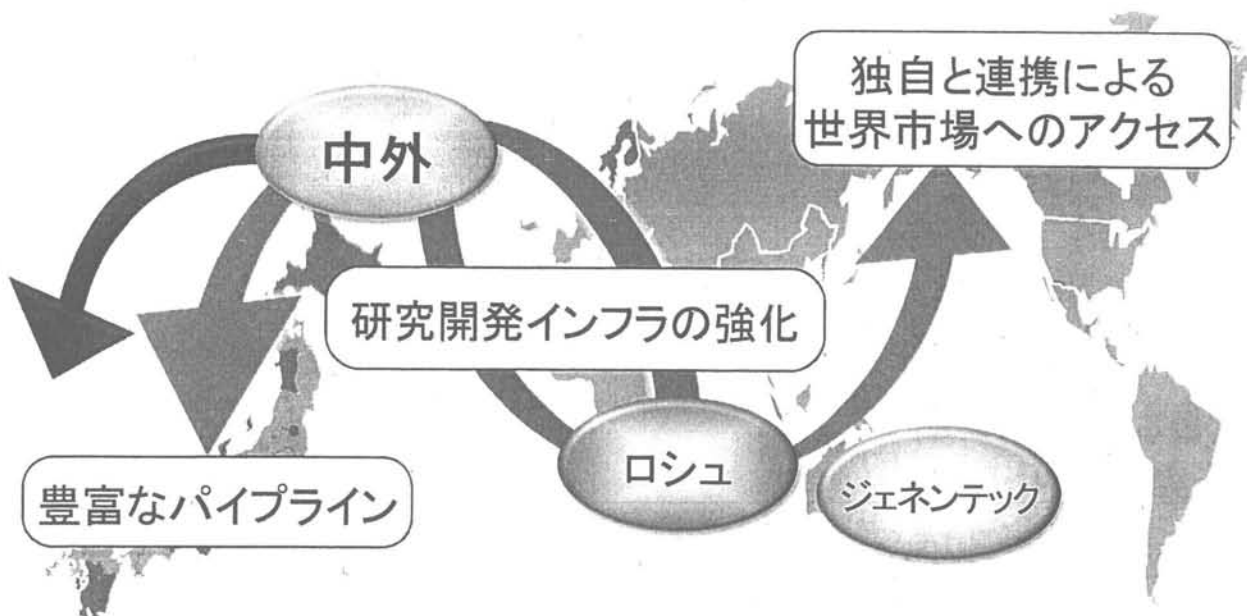
- 1 会社員のがん検診に対する意識と実際の受診率とのギャップが明らかに
- 2 職場におけるがん検診ニーズは高いが実施率は低調
- 3 がん検診に関する情報が正しく伝わっていない
- 4 社会人ががん健診を受けたきっかけは「職場の健康診断にあったから」

中外製薬におけるがん啓発の 取り組み

平成22年4月13日
中外製薬株式会社

ロシュとの戦略的提携

- ◆ バイオテクノロジーの活用による新薬の継続的創出
- ◆ アンメットメディカルニーズに応える新薬の提供(がんに注力)



中外オンコロジーのビジョンとミッション

ビジョン

患者さんが希望をもって、
前向きに立ち向かえるがん医療の実現

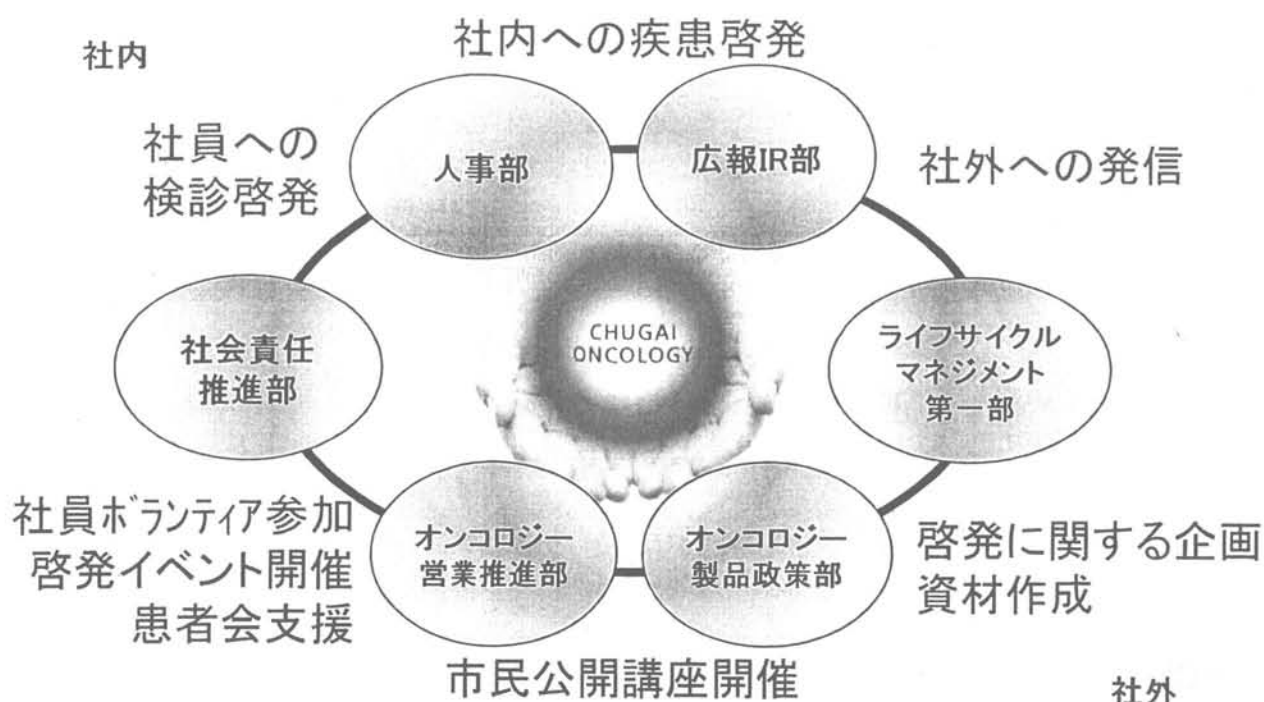
ミッション

1. 革新的で有用な医薬品と情報の継続的な提供により、
がん医療の質の向上に貢献します。
2. 患者さん中心のがん医療の実現のために、
標準治療の普及に貢献します。
3. 患者さんが、がん治療に希望を持って立ち向かう
ことができるための環境づくりに貢献します。

3

がん啓発の社内体制

社内外への啓発活動を部門間連携で推進



4

がんの啓発に関わる具体的活動



患者さんへの医療従事者を通じた情報提供

弊社薬剤をお使いの患者さんへの適正使用情報冊子に加え、がん治療全般に関わる冊子を作成



患者さんへの直接的な情報提供

がん患者さんが必要とするさまざまな情報を発信

- 「がんとともに暮らす」(冊子・WEB)
- がん情報ガイド(WEB)



市民公開講座、イベント展示などの機会を活用して配布



患者さんの状況に応じて、必要な情報へ最短でガイドできるサイトを目指してオープン

7

第5回 患者会支援チャリティー

中外製薬 Presents がん撲滅チャリティー
スター混声合唱団 クリスマスコンサート in 横浜

2009年12月20日(日) 横浜大さん橋ホール

主催：ニッポン放送/2009横浜がんチャリティー実行委員会(26団体)

後援：日本対がん協会、横浜市 企画協力：スター混声合唱団

特別協賛：中外製薬株式会社

第一部：中川恵一先生(東京大学医学部附属病院放射線科)

山田邦子さん(合唱団メンバー)トーク

第二部：スター混声合唱団 クリスマスコンサート



講演



トーク



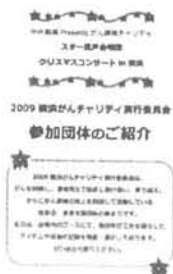
コンサート

8

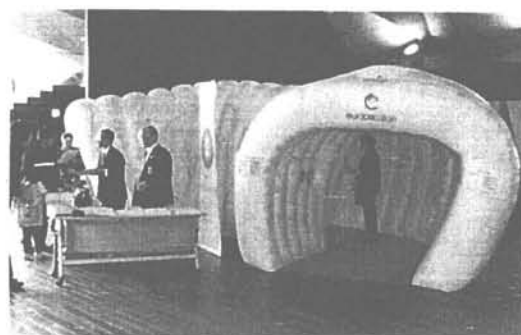
患者会(26団体)の活動紹介と検診啓発

患者会の活動を広く社会に広報することも目的の一つ

患者会の活動紹介(ブース展示・冊子)



大腸がん検診啓発



ピンクリボン神奈川によるマンモカー展示、自己触診啓発の実施



9

社員への啓発活動

乳がん検診啓発の実施例

- 三井タワービル 2Fロビーでのピンクリボンコーナー
(主催:中外製薬、協力:財団法人日本対がん協会、三井不動産株式会社)



乳房触診モデル体験



検診啓発資材



自己触診
シャワーカード

- ピンクリボン月間(10月)は、全社員へのピンクリボン配布と着用の呼びかけ
- 社員によるマンモグラフィ検診体験記のメール配信
- 社内報やイントラネットを活用した検診啓発ならびに取り組みの報告

10

がん啓発イベントへの社員参加

がんの啓発ならびに、社員のがんに対する意識の向上

- ジャイアントコロンの活用した大腸がんの啓発
- 社員ボランティアのチーム参加(13か所、340名)



ポリープや大腸がんを視覚的に体験(2009年はリレー・フォー・ライフ 御殿場・新横浜・福岡、横浜がんチャリティで展示、約2,000名の方へ大腸がんの啓発)

* リレー・フォー・ライフ: がんに負けない社会をつくることを呼びかけながら交代で夜通し歩く、がん啓発サポートキャンペーン 主催 日本対がん協会

 中外製薬

 ロシュグループ



がんに向かい向かう患者さんに
希望をお届けするのも、
私たちの仕事です

すべては、患者さんが希望をもってがんに向かい向かえるがん医療の実現のために。私たち中外製薬は、革新的な医薬品の研究開発・生産・情報提供はもとより、患者さんやご家族、医療関係者に向けたセミナーの開催、最新がん医療の紹介など、さまざまな支援活動を行っています。

がん医療の最前線で、ともに。
中外オンコロジー

[がん情報ガイド](#) <http://gan-guide.jp>

ONCOLOGY (オンコロジー) は、腫瘍学・がん研究を表す言葉です。

 at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

日本医師会におけるがん検診の取組

—がん対策基本法制定以降—

平成22年4月13日

日本医師会常任理事
今村 聡

日本医師会「がん対策推進委員会」の設置
と課題の検討、提言
(平成19年度以降の継続的な検討)

日本医師会がん対策推進委員会の提言(抜粋)
～基本理念～

- 死亡率減少効果を示した科学的根拠を有する「有効な検診」の実施
- 精度管理(がん検診の事業評価)の徹底による「正しい検診」の普及

3

日本医師会がん対策推進委員会の提言(抜粋)
～組織・体制～

- 検診の精度管理のための中央組織の設置と自治体に対する事業評価の指導
- 自治体におけるがん検診対象者名簿の整備
- 検診ガイドラインを作成・更新する公的機関の設置

4

日本医師会がん対策推進委員会の提言(抜粋)
～国の役割～

- 国民の生命を守るための国の責務としてのがん検診の推進
- 女性特有のがん(乳がん、子宮がん)検診の無料クーポン事業の胃・大腸・肺がんへの拡大と財政的手当

5

日本医師会がん対策推進委員会の提言(抜粋)
～受診率向上のための施策～

- かかりつけ医による個別のがん検診受診勧奨の促進と、そのためのツール(ハンドブック等)の作成
- がん検診と特定健診の一体的実施の促進
- 企業(職域)がん検診の実態把握と産業医の活用

6

がん検診に関するアンケート調査の実施

7

アンケート調査の概要

目的:

郡市区医師会におけるがん検診の市区町村からの委託の状況等の把握

対象:

郡市区医師会

期間:

平成21年4月28日～5月25日

・ 回答数:740医師会(調査票回収数:1600)

8

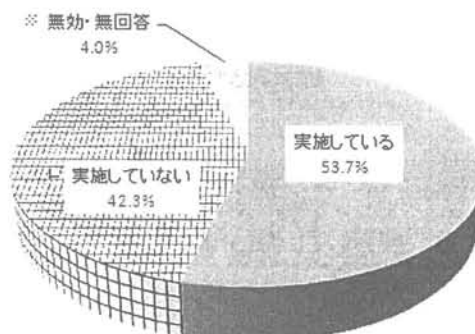
厚生労働省が指針に示している5つのがん検診について

5つのがん(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん)の、各市区町村委託の医師会のがん検診実施状況

	合計	実施している	実施していない	無効・無回答
回答数	1600	860	676	64
割合	100.0%	53.7%	42.3%	4.0%

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
回答数	509	593	447	600	711

がん検診の受託について n = 1,600



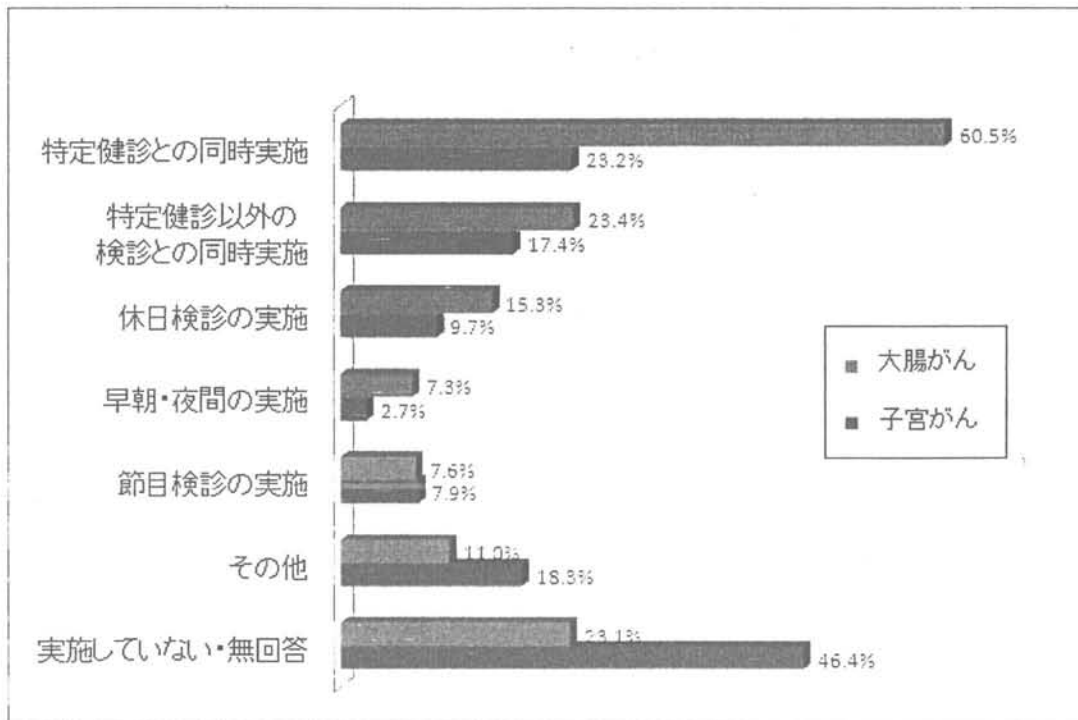
9

医師会が受託しているがん検診 受診者/対象者・受診者/実施可能数

胃がん	受診者/対象者 n=407	受診者/実施可能数 n=197
	8.4%	42.5%
大腸がん	受診者/対象者 n=476	受診者/実施可能数 n=220
	15.6%	37.4%
肺がん	受診者/対象者 n=341	受診者/実施可能数 n=168
	16.1%	49.3%
乳がん	受診者/対象者 n=493	受診者/実施可能数 n=221
	9.1%	40.3%
子宮がん	受診者/対象者 n=589	受診者/実施可能数 n=231
	9.7%	35.2%

10

受診率向上のための工夫



11

がん検診受診向上アドバイザー パネル委員会に対する協力

12

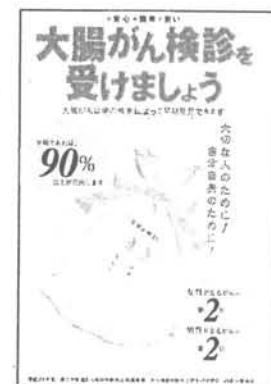
がん検診受診向上アドバイザーパネル委員会

- ・平成21年度厚生労働省委託事業
- ・国立がんセンターがん対策情報センターに設置
- ・日本医師会から担当常任理事および推薦委員が参画
- ・かかりつけの医師による効果的な受診勧奨の支援を目的としたツールの作成

13

かかりつけの医師による がん検診受診勧奨ハンドブック、リーフレット

- ・ハンドブックおよび受診勧奨用リーフレット(大腸がん検診・子宮頸がん検診)を作成
- ・平成22年3月末、全日医会員、都道府県医師会、郡市区医師会へ送付



14

おわりに(今後の課題)

- ・がん対策推進委員会の個々の提言を具現化するための国への働きかけ。
- ・がん検診受診率向上に対応し得る検診実施体制(ひと、施設、設備)の整備とそのための財源確保
- ・地域格差を生まないための国による強力な財政支援の実現

15

ご清聴ありがとうございました



日本医師会

16

第5回がんに関する普及啓発懇談会

日本放射線技師会における がん検診の取り組み

平成22年4月13日(火)

(社)日本放射線技師会
会長 北村 善明

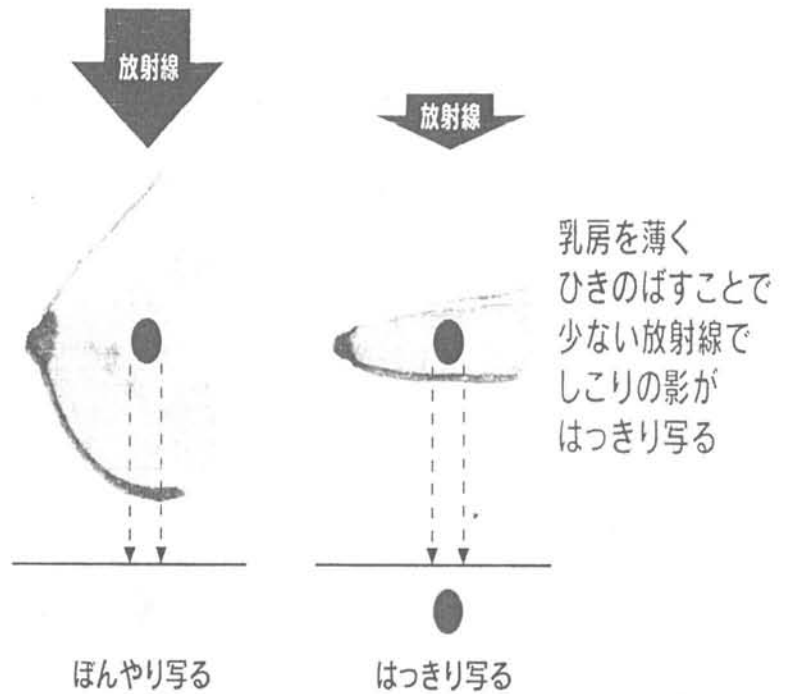
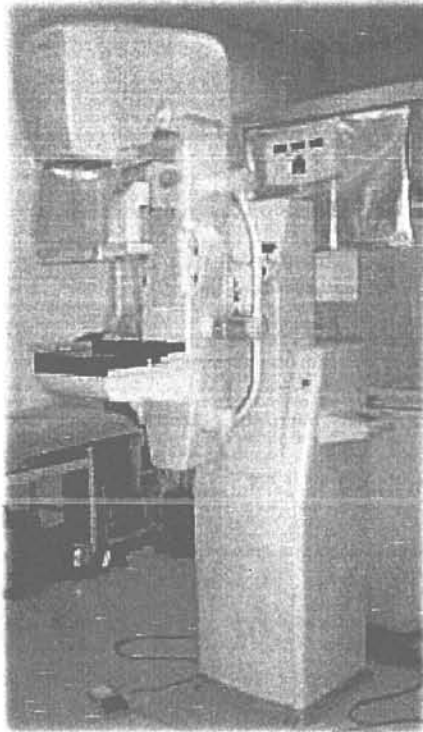


放射線検査は、病気の早期発見に役立っています



マンモグラフィ

～乳房を圧迫する理由～



がん検診における診療放射線技師の役割

がん検診における認定技師等

対象	認定技師等(診療放射線技師)
胃がん	胃がん検診専門技師
肺がん	肺がんCT検診認定技師
子宮頸がん	—
乳がん	検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師
大腸がん	—

マンモグラフィーの標準化

画質と線量の標準化



装置の標準化
(専用装置と
装置の精度管理)

撮影技術の
標準化

品質管理と安全対策

安全・安心の確保

(精度の高いがん検診の提供)

* 精度の管理

画質の管理・機器の精度管理・技術の管理

* 線量の管理

必要な画質で、適正な線量で

日本放射線技師会の対応

1) 検診受診率50%に向けた事業

- (1) ピンクリボン運動等に対する協力体制
- (2) レントゲン週間、健康フェア等での広報
- (3) がん検診企業アクションへの参加

2) 会員の資質の向上に向けた事業(セミナー等の開催)

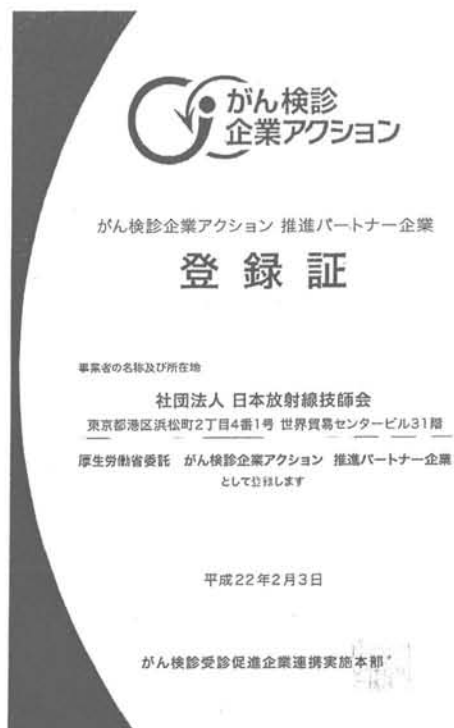
- (1) がん医療コース (肺、胃、乳房)
- (2) 医療安全関係セミナー

3) 放射線治療の質の向上

- (1) 放射線治療専門技師の養成に対する協働
- (2) 放射線治療品質管理士の養成に対する協働

日本放射線技師会の対応

がん検診企業アクションへの参加



セミナーの開催

(がん検診受診率50%実現に向けた取り組みについて)

(がん検診普及に向けた検診従事者の確保について)

①がん検診実施のための指針に沿った講習会

マンモグラフィ講習会

上部消化管エックス線検査講習会

②全国規模での開催

③受講者のターゲット

診療放射線技師免許取得者

セミナーの開催（課題）

- 職場環境

受講料の個人負担

平日は出られない環境



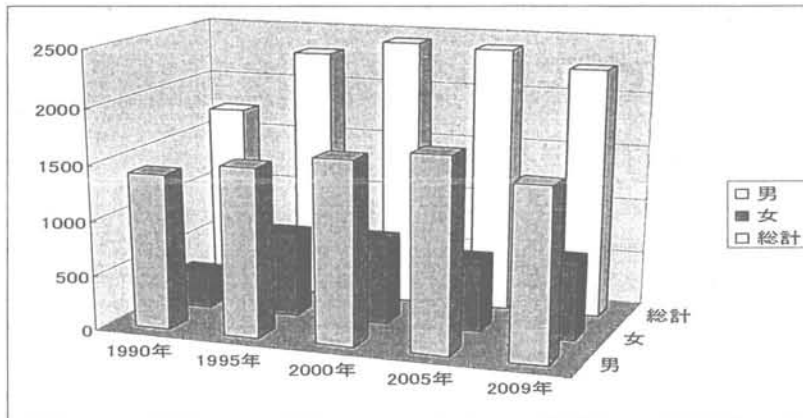
- 受講しやすい環境づくり

施設長からの業務命令

(出張扱い、受講料負担)

診療放射線技師養成機関 男女別入学者数

年	1990	1995	2000	2005	2009
男性	1410	1528	1652	1741	1544
女性	328	766	773	657	716
総計	1738	2294	2425	2398	2260
女性の比率	(18.8)	(33.4)	(31.9)	(27.4)	(31.7)



女性放射線技師養成支援プログラム (LMGプログラム)

「特にマンモグラフィ撮影検定試験対策研修施設協議会支援・奨励のための参考図書代」
補助プログラムの申請

NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)
理事長・田中宛児

NPO 法人 J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は、「乳がんで苦しむ人を一人でも少なくしたい」という思いから様々な活動を行っております。(詳細は同封の活動概要と <http://www.jposh.org> をご覧ください)
 その中には、乳がん早期発見のためのマンモグラフィ検査の普及や乳がん患者さんへの専門医(医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、ソーシャルワーカー、など)による啓蒙の推進があります。
 一方で、乳がんの患者の実際はその患者さまのほとんどが女性であるため、そして乳癌という女性特有の臓器であるため、その現場では女性スタッフを望まれる声は非常に高いものがあり、NPO法人J.POSHにも「女性放射線技師さんに検査をしてもらいたい、女性技師さんであれば検査を受けるのに…」などの声が多く寄せられております。
 また、欧米における乳がんのマンモグラフィ検診ユニットやプレストクリニックでは(少数の男性医師を除いて)すべて女性スタッフで構成されているのが一般的です。このように、今もこれからも乳がん検査・診療の現場で女性の放射線技師の方々が必要とされています。
 このような状況を踏まえて、NPO法人J.POSHではより多くの女性放射線技師(Lady Mammographer: LMG)の方が乳がん領域、特にマンモグラフィ撮影に興味を持っていただき、女性やその家族、友人を乳がんの苦しみから救っていただければと思い、これを支援する女性放射線技師養成支援プログラム(LMGプログラム)を設立いたしました。
 初年度の2010年度は「検診マンモグラフィ撮影検定試験対策研修施設協議会支援・奨励のための参考図書代」補助プログラムを募集いたします。
 応募要項(別紙)をお目通しの上、ご応募および広報のご協力をよろしくお願いいたします。

<女性放射線技師養成支援プログラム(LMGプログラム)に関するお問合せ先>
 NPO 法人 J. POSH(日本乳がんピンクリボン運動)事務局
 TEL: 06-6910-2900 FAX: 06-6910-2851 Email: info@jposh.org
 担当: 事務局長 松田美美子



J.POSH
乳がん患者の希望を叶える



ご清聴ありがとうございました